

山梨大学発ベンチャー第 10 号「株式会社葡萄守」

代表取締役社長：鈴木俊二（生命環境学域 教授）

【概要】

国立大学法人山梨大学大学院総合研究部の鈴木俊二教授を代表取締役社長として、山梨大学で確立された高感度遺伝子診断技術を基盤として、ブドウ樹に感染したウイルスを高精度に検出する受託検査サービスを展開し、国内では未整備な“ウイルスフリーインフラ”を構築することで、持続可能なブドウ栽培と高品質ワインの安定供給を実現することを目的とした「株式会社葡萄守」を設立し、「山梨大学発ベンチャー」第 10 号として認定しました。

【会社設立の背景】

近年、日本国内においてもワイナリーの増加にともない高品質な苗木需要が急速に高まっています。一方で、ブドウ樹に感染するウイルス病は深刻な問題となっており、樹勢低下、収量減少、成熟不良、果実品質低下など、生産現場へ大きな経済的損失を与えています。特にブドウ葉巻病などは世界中のブドウ産地で問題視されており、日本においても潜在的な感染が広範囲に広がっていると考えられています。しかしながら、日本国内ではブドウウイルスを専門的に診断できる機関は限られており、生産現場では「感染しているかどうか分からないまま苗木を導入する」という状況も少なくありません。また、検査コストや検査体制の不足により、定期的なモニタリングも十分に普及していない現状があります。

山梨大学ワイン科学研究センターでは、長年にわたりブドウウイルスの研究、診断技術開発、ウイルスフリー苗木の作出研究を進めてきました。その活動の中で、全国のワイナリー、苗木業者、農家、自治体農業試験場などから多数の検査依頼を受けるようになり、社会実装への強いニーズを実感してきました。実際、受託検査数は 2021 年以降、年間 2,000 検体を超える規模まで増加しており、ブドウ産業におけるウイルス病管理需要の高まりが顕著となっています。

こうした背景のもと、「研究成果を論文だけで終わらせず、実際の産業現場へ還元したい」という想いから、株式会社葡萄守を設立しました。社名には、“ブドウを病害から守り、日本ワイン産業の未来を支える存在になりたい”という願いが込められています。加えて、株式会社葡萄守は、大学の研究基盤やネットワークを活かしながら、地域産業と連携した新たなアグリバイオ事業モデルの構築を目指しています。

【事業概要】

株式会社葡萄守は、ブドウ病害の早期発見・早期対策を実現するための「遺伝子診断サービス」を中核事業として展開しています。主力サービスは、PCR 法を用いたブドウウイルス検定です。葉や新梢、休眠枝などのブドウ樹サンプルから対象とするウイルスを高感度に検出し、感染の有

無を診断します。現在は、ブドウ葉巻病ウイルスをはじめとする主要な 7~12 種類のウイルスに対応しており、複数ウイルスの一斉分析も可能です。

本事業の特徴は、単なる分析受託にとどまらない点にあります。株式会社葡萄守では、

- ウイルス検定
- 感染リスク評価
- 健全母樹管理
- ウイルスフリー苗木導入支援
- 病害対策コンサルティング

までを一体化した「総合病害管理支援サービス」を提供します。

また、大学研究機関との共同研究により、最新の研究成果や高度分析技術を迅速に現場へ導入できる点も大きな強みです。特に、ワイン産業特有の課題である「品質維持」と「苗木健全化」の両立を、科学的データに基づいて支援できることは、国内でも大きな差別化要素となります。さらに、今後は AI やデジタル技術を活用し、検査結果のクラウド管理や感染リスク予測など、次世代型の総合病害管理システム構築も視野に入れています。

【販売商品・提供サービス】

株式会社葡萄守では、ブドウ産業向けに以下のサービスを提供します。

●ブドウウイルス検定サービス

PCR 法による高感度なウイルス遺伝子診断サービスです。Grapevine leafroll-associated virus、Grapevine virus A、Grapevine virus B、Grapevine rupestris stem pitting-associated virus など、日本国内で感染拡大が確認されている主要なブドウウイルスを対象に、一斉検出を実施します。また、ご要望に応じて特定ウイルスのみを対象とした個別検査にも対応可能です。検査結果は報告書として提供し、圃場や苗木における感染状況を可視化します。

●ウイルスフリー苗木導入支援サービス

ワイナリーや苗木業者向けに、希望するブドウ品種のウイルスフリー化を行い、健全苗木として提供します。あわせて、母樹検査、定期モニタリング、感染リスク評価を通じて、高品質な苗木供給体制の構築を支援します。

●新品種交配受託サービス

ワイナリーや苗木業者、研究機関向けに、希望するブドウ品種間の交配を受託し、新たな育種素材となる種子を提供します。目的に応じた品種組み合わせの提案にも対応し、新品種育成や地域特性に適したブドウ開発を支援します。

【今後の事業計画・展望】

株式会社葡萄守は、「病害リスクを科学で可視化し、日本ワイン産業の未来を守る」ことを長期

ビジョンとして掲げています。まずは、ワイナリー、苗木業者、農家への導入実績を積み重ね、日本における“植物病害診断インフラ”の構築を目指します。さらに、中長期的には、「モモ、ナシ、リンゴなど他果樹への展開」、「AI を活用した感染予測モデル」、「検査データのビッグデータ化」、など、単なる検査会社ではなく、「植物病害管理プラットフォーム企業」への成長を目指していきます。また、将来的には、病害管理だけでなく、環境センシング、微生物解析データ、スマート農業データとの統合も視野に入れており、ブドウ栽培のデータ駆動型管理への貢献も期待されます。

山梨大学発ベンチャーとして、研究成果を社会へ実装し、日本の農業・ワイン産業の持続可能性向上に貢献してまいります。

【代表者略歴】

1991 年、三重大学農学部卒業。1999 年、三重大学大学院生物資源学研究科博士後期課程修了。カリフォルニア大学デイビス校医学部 ポストドクトラルリサーチャー、愛媛大学医学部生理学第一講座 助手、山梨大学大学院医学工学総合研究部ワイン・クリスタル系 助教授を経て、山梨大学大学院総合研究部生命環境学域（ワイン科学研究センター） 教授。

【会社概要】

代表取締役社長：鈴木俊二（大学院総合研究部生命環境学域・ワイン科学研究センター 教授）

所在地：山梨県甲府市北新 1-11-10

設立日：2026 年 2 月 13 日

Web サイト：<https://budonokami.com/>

大学発ベンチャー認定日：2026 年 3 月 26 日



株式会社 葡萄守

ぶどうのかみ

ブドウのウイルス感染を高感度で検出する遺伝子検定サービスで、日本のブドウ栽培とワイン産業を守ります。



高感度・高信頼の
遺伝子検査

7種の主要ウイルスを
一度に検出。
確定診断で安心を提供。



健全な畑づくりを
サポート

感染リスクの早期発見と
適切な対策で、安定生産と
高品質ワインを実現。



日本ワインの
ブランド価値向上

ウイルスフリーのブドウで、
世界に誇れる日本ワインの
未来をつくる。

なぜ、今ウイルス対策が必要なのか？

ブドウは一度ウイルスに感染すると、治癒が困難です。

葉の黄化・巻化



着色不良・品質低下



収量減少・樹勢低下



見えないウイルス感染が、収量・品質・収益を静かに奪っています。

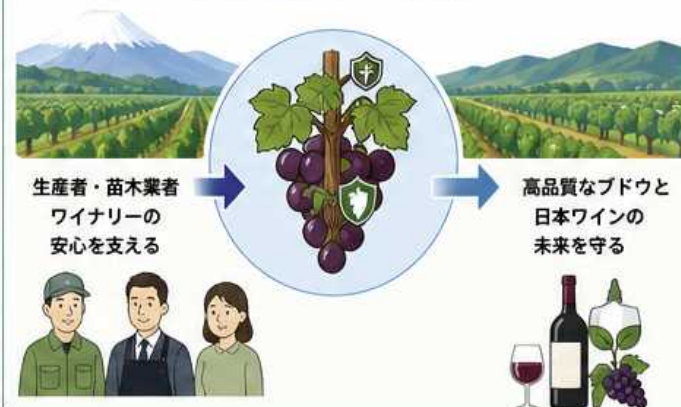
経済的損失の一例（GLRaVの場合）

- ・1ヘクタールあたり最大80万円の損失（UC Davis報告）
- ・カリフォルニア州全体では数億ドル規模の経済損失



葡萄守の役割

日本のブドウ畑からウイルスを撲滅し、
次世代へ健全なバトンをつなぐ



葡萄守のウイルス検定サービス

高感度な遺伝子診断で、7種の主要ウイルスを一度に検出します。

7種のウイルスを一斉検出

- ✓ GRVfV (リュベストリス斑葉ウイルス)
- ✓ GVB (グレーブバインウイルスB)
- ✓ GVA (グレーブバインウイルスA)
- ✓ RSPaV (リュベストリス茎ビッチング関連ウイルス)
- ✓ GLRaV-3 (リーフロール関連ウイルス3)
- ✓ GLRaV-2 (リーフロール関連ウイルス2)
- ✓ GLRaV-1 (リーフロール関連ウイルス1)

サービスの流れ

① 検体の送付



葉や新梢などの
サンプルを送付

② 遺伝子検査



高感度PCR法で
7種を一斉検出

③ 結果報告



分かりやすい検査報告書を
迅速にご提供

④ コンサルティング



結果に基づく対策や
苗木更新のご提案

料金

遺伝子検査

2,500円（税込）/検体

コンサルティング

20,000円～

主なご利用先

苗木業者



- ・母樹の健全性確認
- ・ウイルスフリー苗木の
証明で信頼向上

ワイナリー



- ・自社畑の感染状況把握
- ・高品質ワインの安定
供給を支援

ブドウ農家



- ・畑の健康管理
- ・収量・品質の維持向上
- ・経営リスクの低減

大学発の強みと競争優位性



山梨大学発の技術力

長年の研究で確立した高感度・高信頼の遺伝子診断技術。



科学的根拠と確定診断

ELISA法より高精度。
「確定診断」で安心の意思決定をサポート。



豊富な実績とネットワーク

ワイナリー・苗木業者・農家との信頼関係と導入実績。

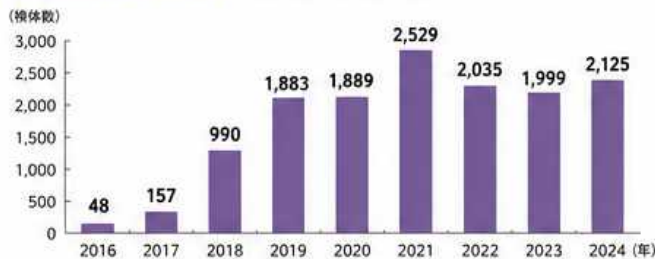


低コスト・高効率運営

大学設備の活用でコストを抑え、適正価格で提供。

受託検査数の推移

確かな実績が信頼の証です。



2021年以降、年間2,000件以上の検査を受託！

価格：1,500円/検体（過去実績） 顧客：ワイナリー、農家、苗木商、果試験場 など

今後の展望



全国展開
日本各地のブドウ産地へ
サービスを拡大



対象作物の拡大
モモ・ナシ・リンゴなど
他果樹への展開



海外展開
海外のブドウ産地との
連携・輸出支援も視野に



次世代への継承
健全なブドウを未来へつなぎ、
持続可能な産地を実現



メディアの皆さまへ

日本のワイン産業の未来を支える「見えないインフラ」です。
ぜひ取材・記事化のご検討をお願いいたします。



株式会社 葡萄守 (ぶどうのかみ)

山梨県甲府市北新1-11-10

TEL: 090-4376-6658 Mail: koshu@budonokami.com



公式サイトは
こちら